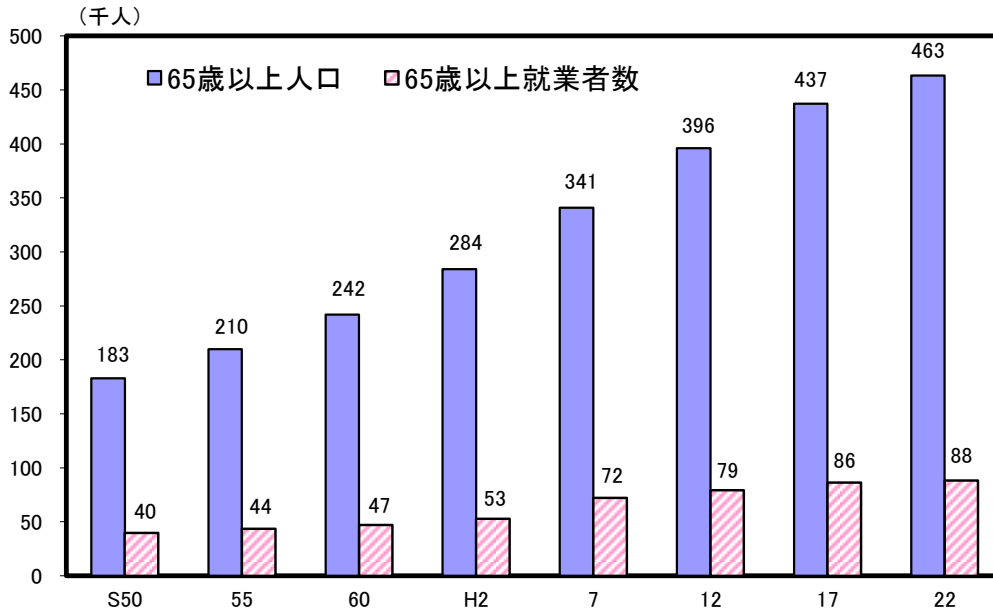


熊本県の高齢者の就業者数の推移



解 説

【概要】

平成22年の県内65歳以上人口463千人のうち就業者数は88千人であった。

同人口・就業者数の推移をみると、65歳以上人口が昭和50年の183千人から約2.5倍に増加したのに対し、就業者数は昭和50年の40千人から約2.2倍となっている。

また、高齢者の就業者比率は昭和55年以降ほぼ20%前後であり、平成22年19.1%は全国平均20.4%を下回っている。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入も含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○年齢

調査年の9月30日現在における満年齢。

○高齢者の就業者比率

$65歳以上の就業者数 \div 65歳以上人口 \times 100$

○男性高齢者の就業者比率

$男性65歳以上の就業者数 \div 男性65歳以上人口 \times 100$

○女性高齢者の就業者比率

$女性65歳以上の就業者数 \div 女性65歳以上人口 \times 100$

○障がい者雇用率（民間企業）

「障害者の雇用の促進等に関する法律」により、1人以上の身体障がい者又は知的障がい者を雇用する義務があり、一般の民間企業においては2.0%の法定雇用率が適用される。

$雇用されている障がい者数 \div 常用労働者数（失業者を含む） \times 100$
（重度障がい者は1人について、2人の雇用とみなす）

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2、*3「国勢調査」 総務省統計局 *4 厚生労働省資料	平成22年10月1日 平成27年6月1日	5年 毎年